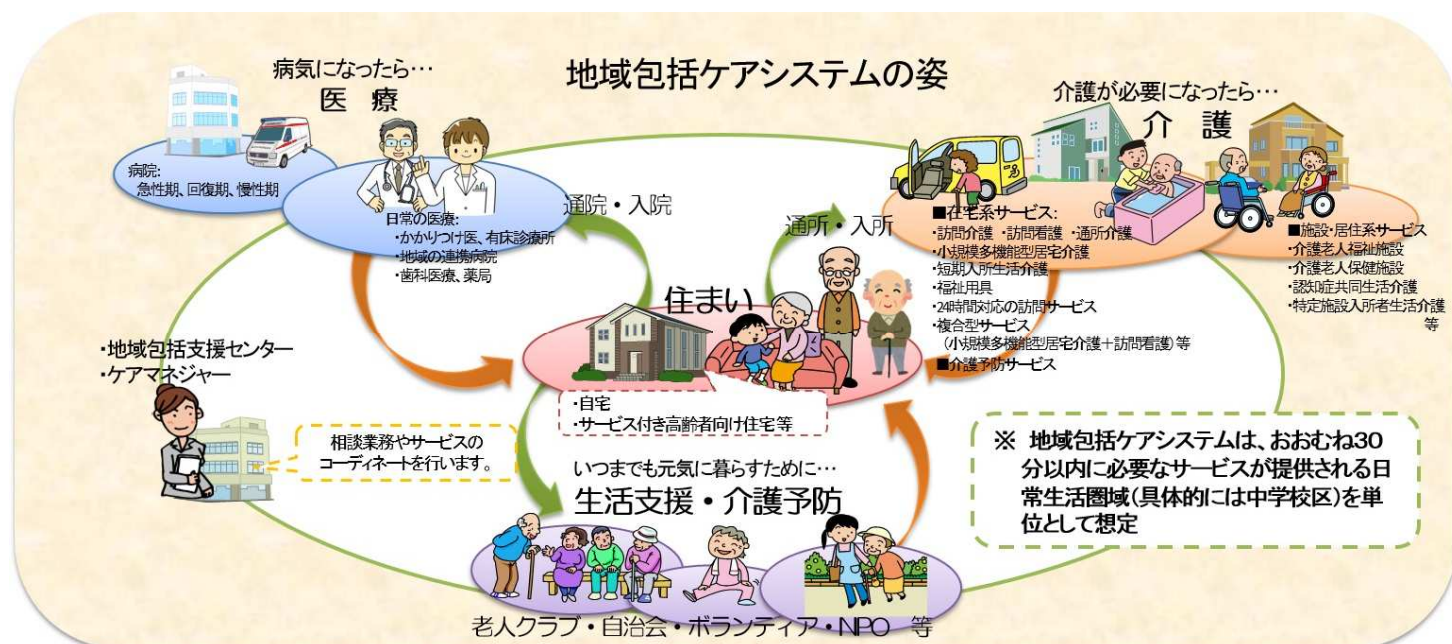


～ 東御市の介護保険状況について ～

東御市の地域包括ケア って今、どんな感じ？

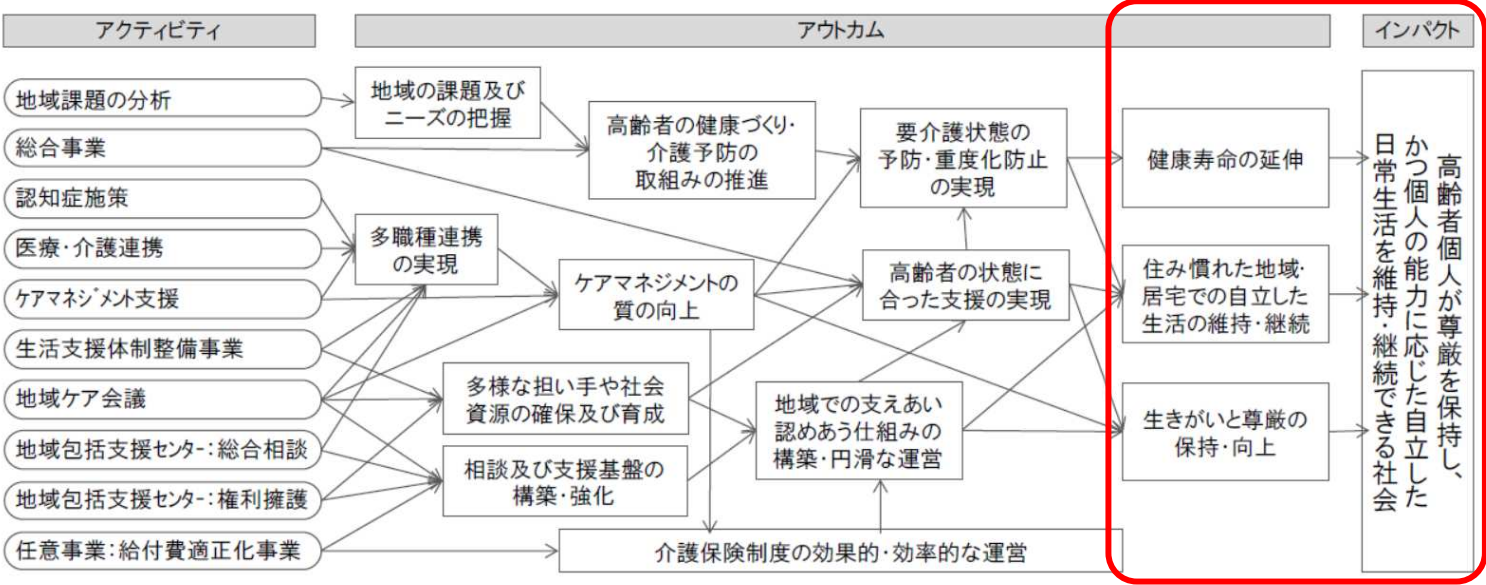


先に結論めいたことを…

～ 東御は良さげです ～



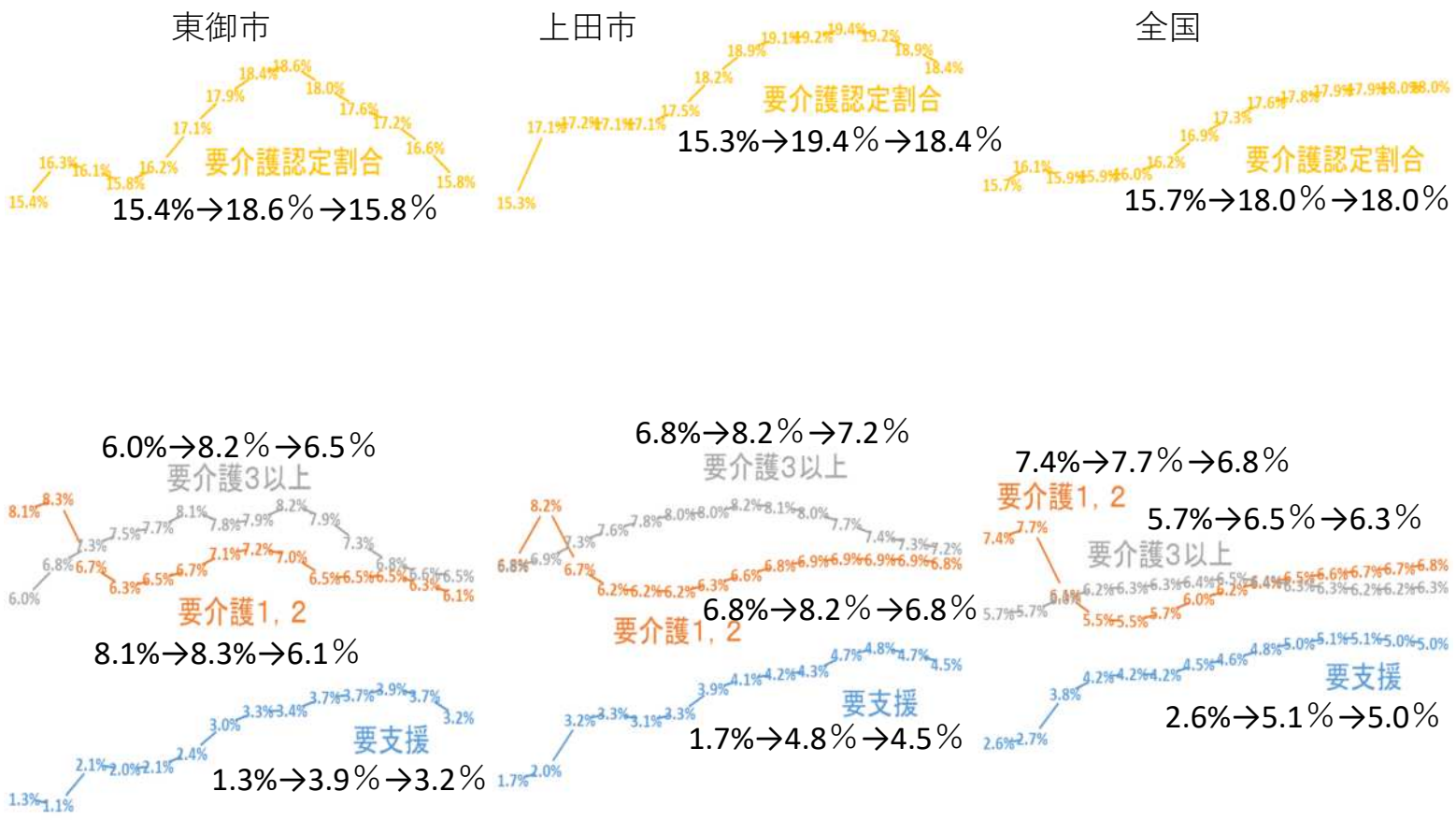
- ① 「元気で長生き」は結構イイ感じかも。
- ② 「住み慣れた地域・居宅」は発展途上。
- ③ 地域の方々は、それぞれが自然体で
「生きがいと尊厳」をお持ちのような。
- ④ 介護保険会計も決して悪くなく健全に…



地域の方々の意識や行動、地域での活動、行政の施策や担当の活動、各事業所での取組等の日々の積み重ねが、結果的に個人・関係者・地域を理想の状態に導くはず…

健康寿命の延伸

第1号被保険者（65歳以上）の要支援・要介護認定率の推移

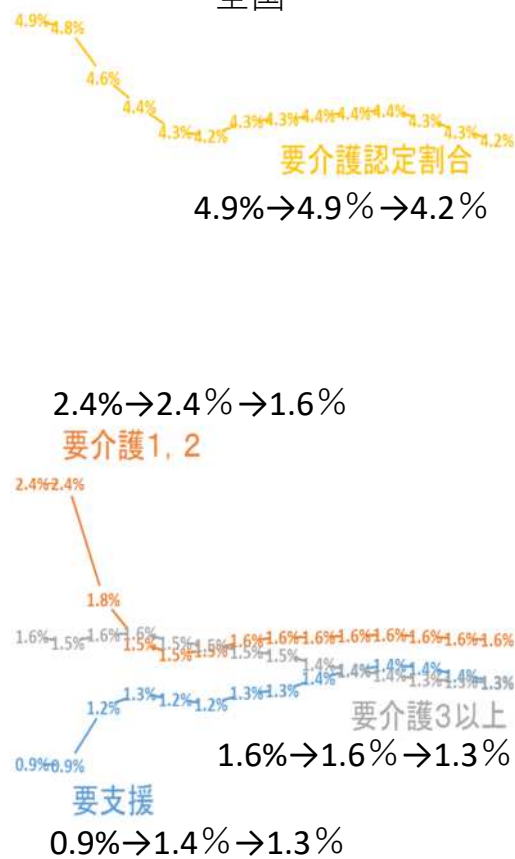
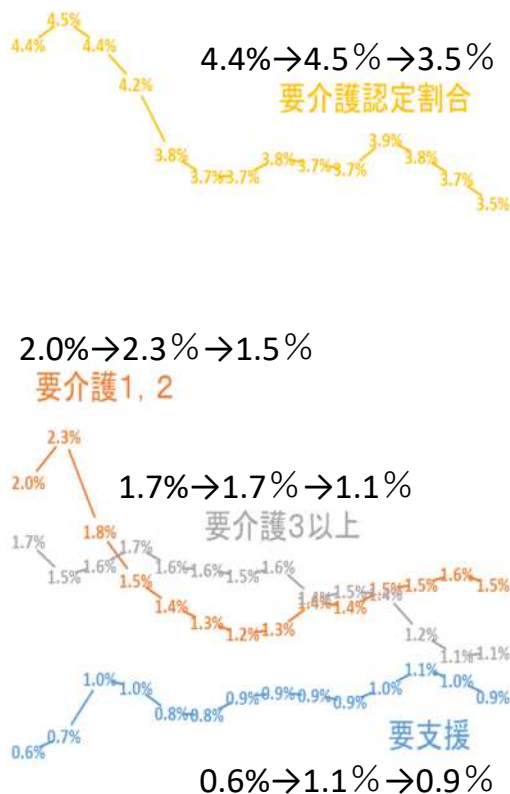


65～74歳の要介護認定割合の推移

東御市

上田市

全国

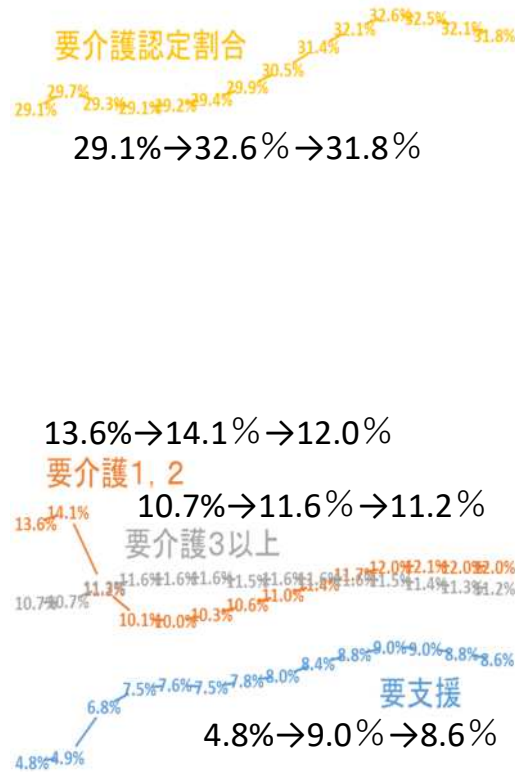
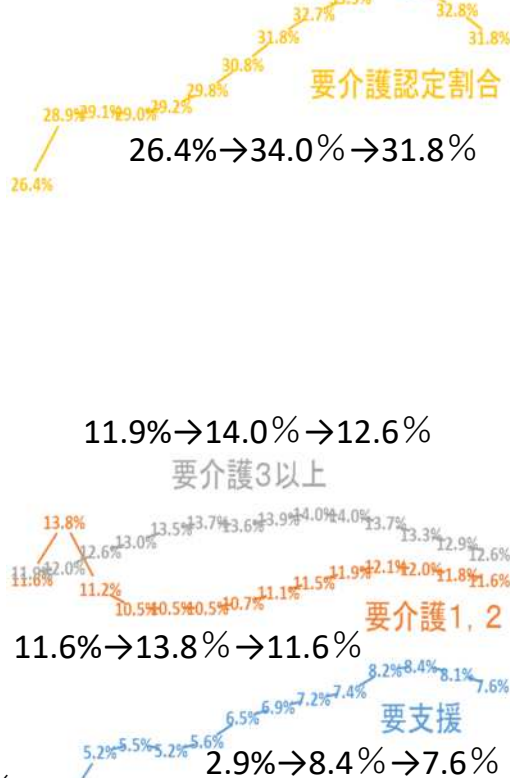
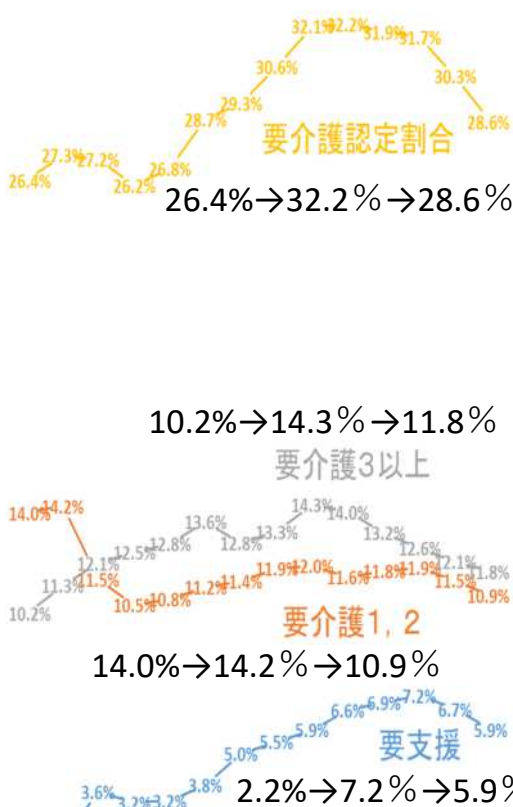


75歳以上の要介護認定割合の推移

東御市

上田市

全国



年齢構成
の違いを
帳消しに

調整済み認定率（要介護度別）（平成24年(2012年)）

高い方から
3/13番目が



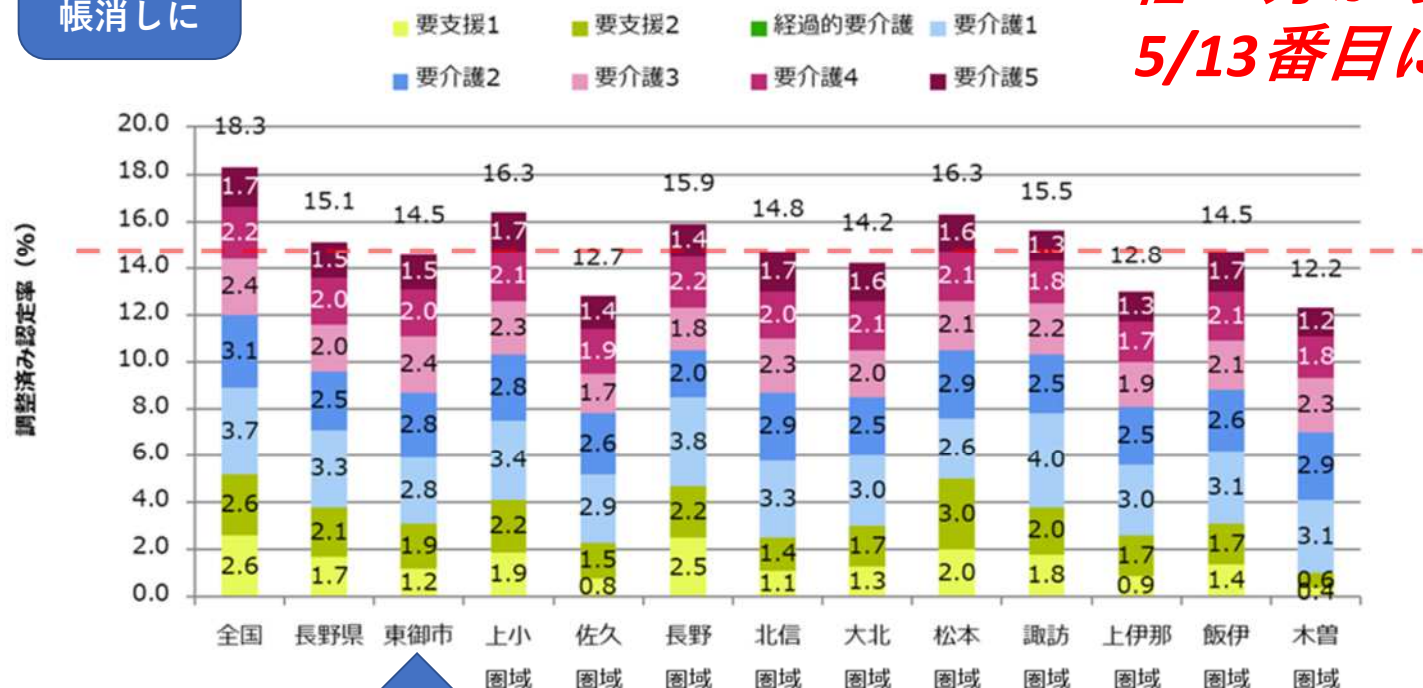
（時点）平成24年(2012年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

年齢構成
の違いを
帳消しに

調整済み認定率（要介護度別）（平成30年(2018年)）

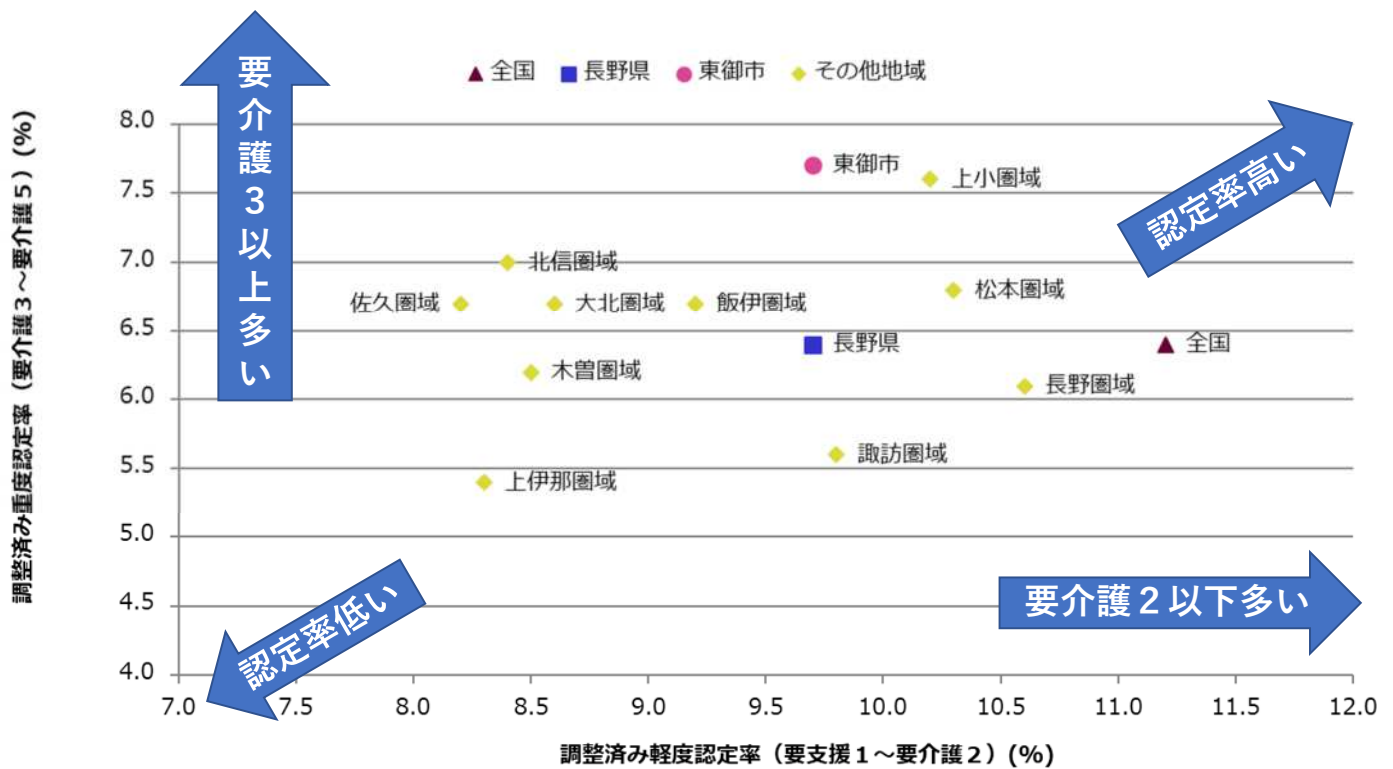
低い方から
5/13番目に



（時点）平成30年(2018年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

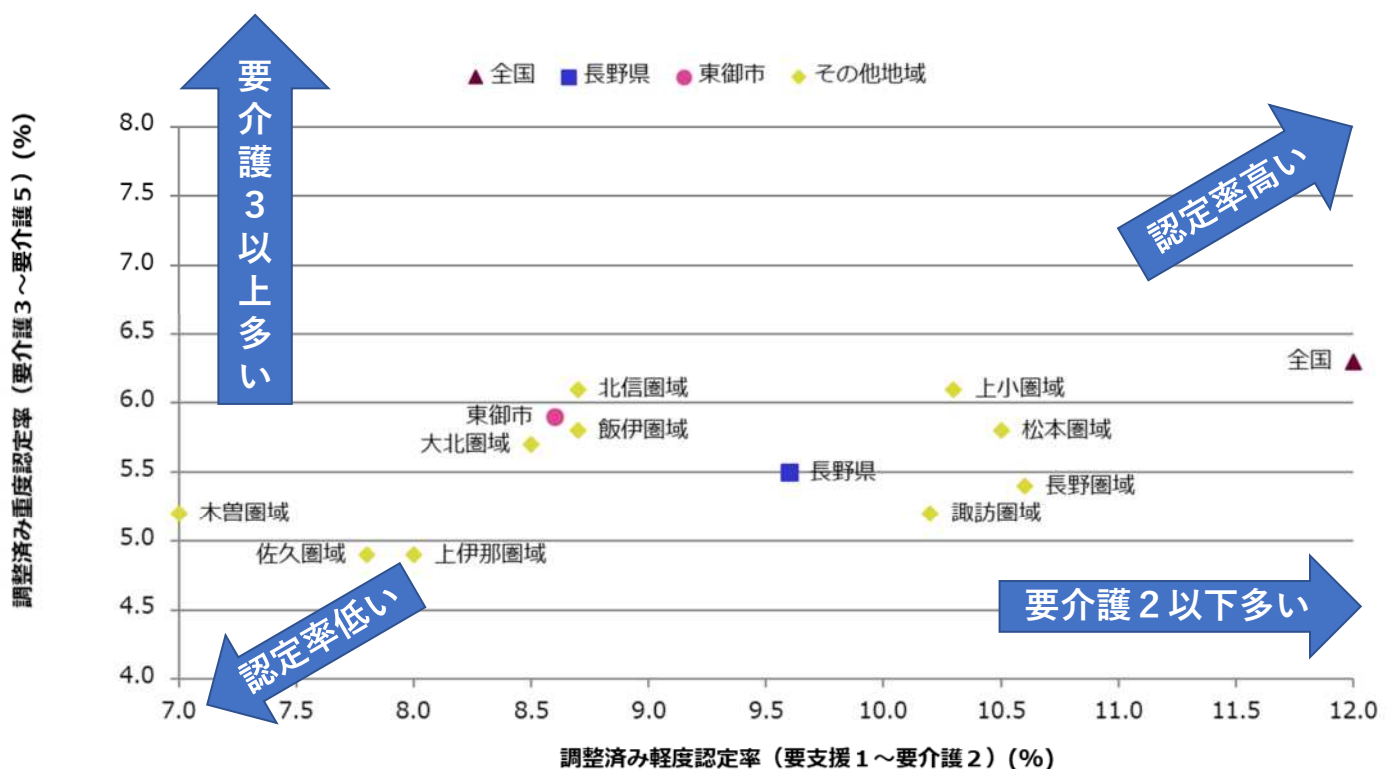
調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布（平成24年(2012年)）



（時点）平成24年(2012年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布（平成30年(2018年)）



（時点）平成30年(2018年)

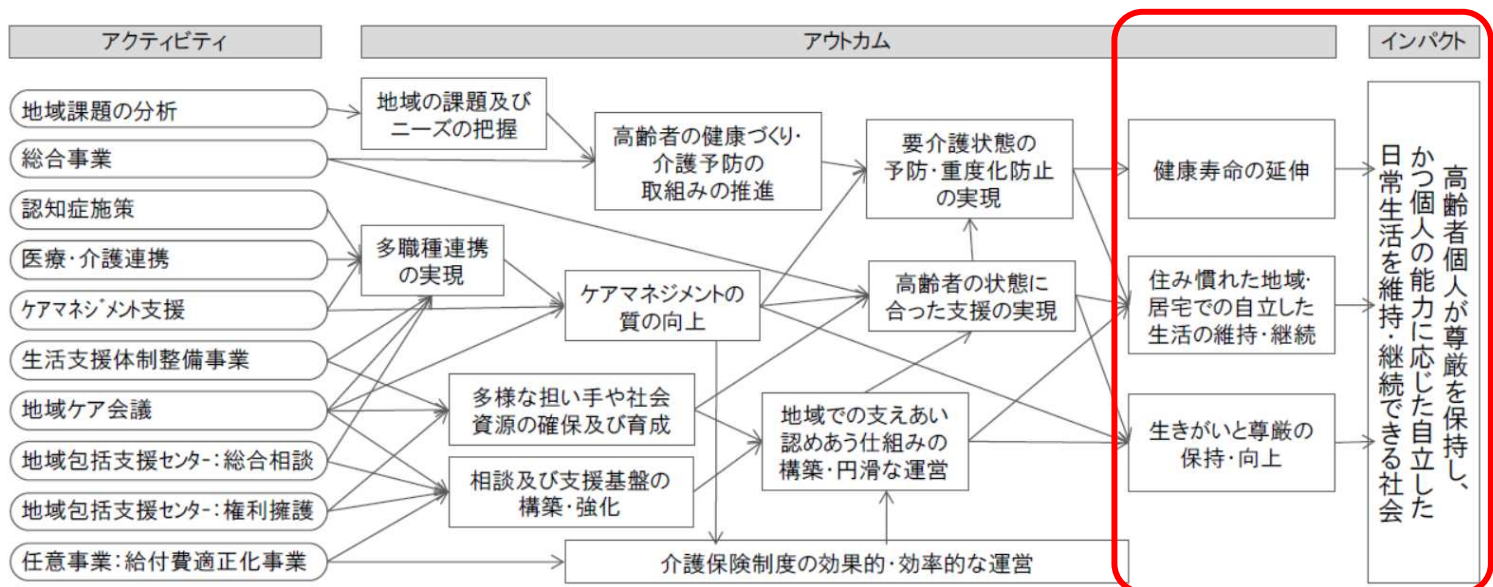
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

まとめ 1 : 「健康寿命の延伸」の指標は良好

⇒ 今後もこの状態を維持できるように高齢者の健康づくり・介護予防・重度化防止の取り組みを推進しよう！

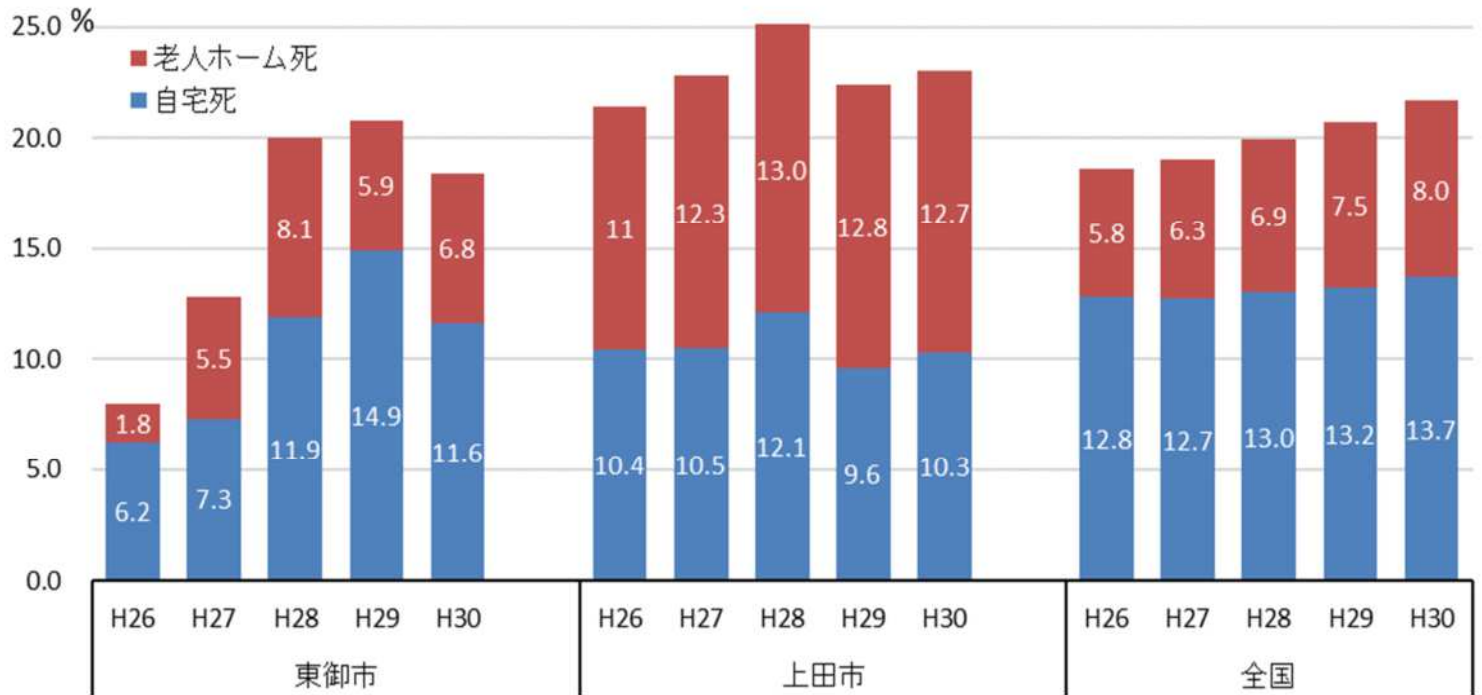
- ◆ 「健康寿命の延伸」の代表的な指標である要支援・要介護認定者率は良好。
- ◆ 75歳以上で年々減少しており、同世代でも元気に自立した生活を継続できている高齢者が増えている可能性がある。
- ◆ 65～74歳の前期高齢者に関しては同様の状況ではなく注意が必要。
- ◆ 団塊世代が75歳以上を迎える数年後を見据えて、高齢者の健康づくり・介護予防・重度化防止、すなわち、その世代までの生活習慣病予防と、その世代からのフレイル予防を積極的に進めていく必要がある。
- ◆ 上田市、上小圏域を比較対象とすれば東御市の指標は良好であり、かつ改善傾向にあることも顕著（全国や長野県との比較でも同様）。
- ◆ 隣接する佐久圏域や他の圏域は、東御市よりもさらに調整済み認定率が低い状況が続いており、引き続き高齢者の健康づくり・介護予防の取り組みを推進することを通して、さらにこれらの指標が改善する余地はある。
- ◆ 軽度認定率よりも重度認定率が相対的に高く、重度化防止は課題である。
- ◆ 継続的にこうした指標をモニタリングしていくことが望ましい。

地域支援事業を評価する枠組み（「地域支援事業の実施状況及び評価指標等に関する調査研究事業（平成 29 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）」のインパクトマップ詳細版より）



地域の方々の意識や行動、地域での活動、行政の施策や担当の活動、各事業所での取組等の日々の積み重ねが、結果的に個人・関係者・地域を理想の状態に導くはず…

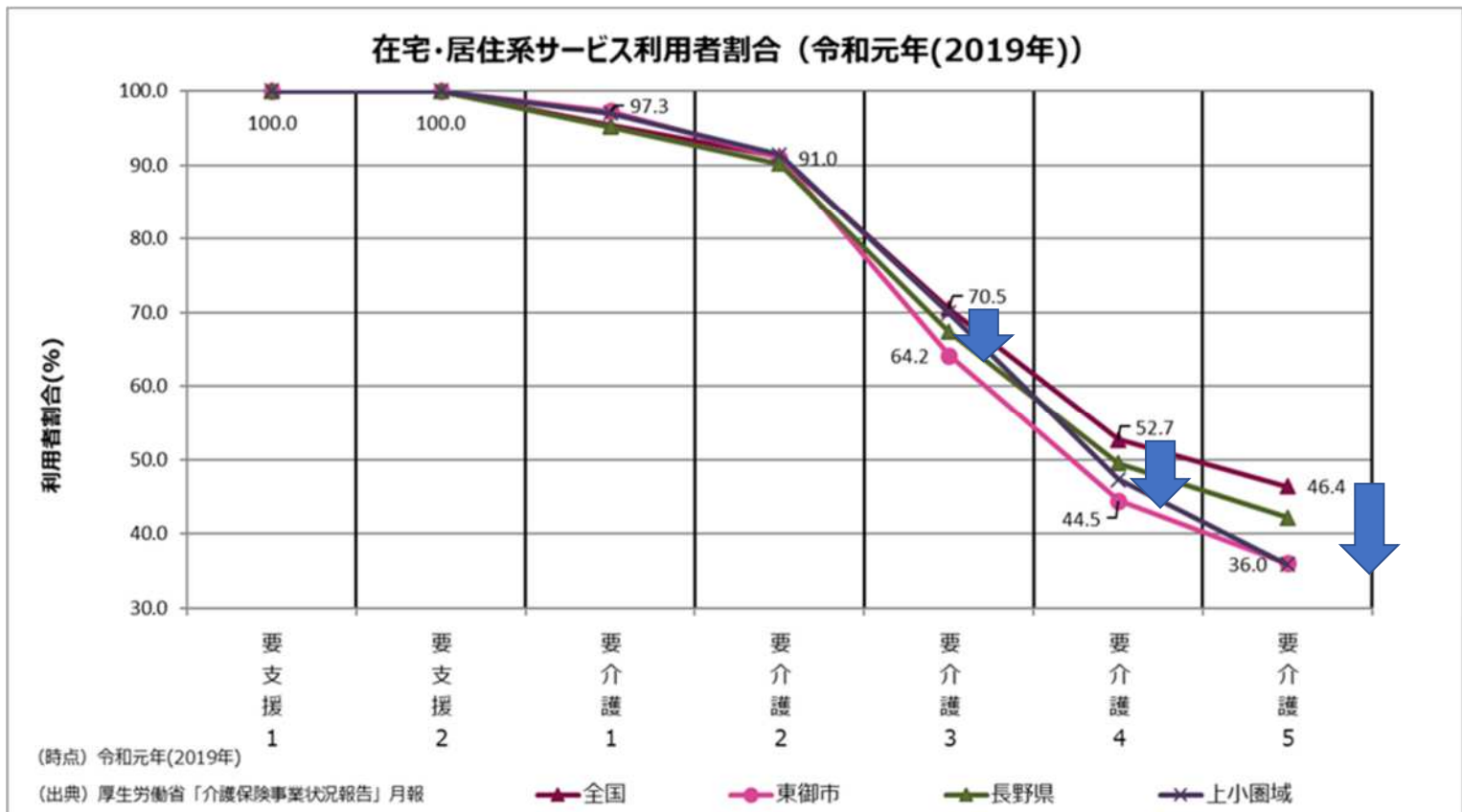
住み慣れた地域・居宅で…（１）最期はどこで？



死亡場所に占める自宅と老人ホームの割合の地域間比較（東御市・上田市・全国）

「最期は自宅やホームで」は今後増えるのか…？

住み慣れた地域・居宅で…（２）重度化すると？

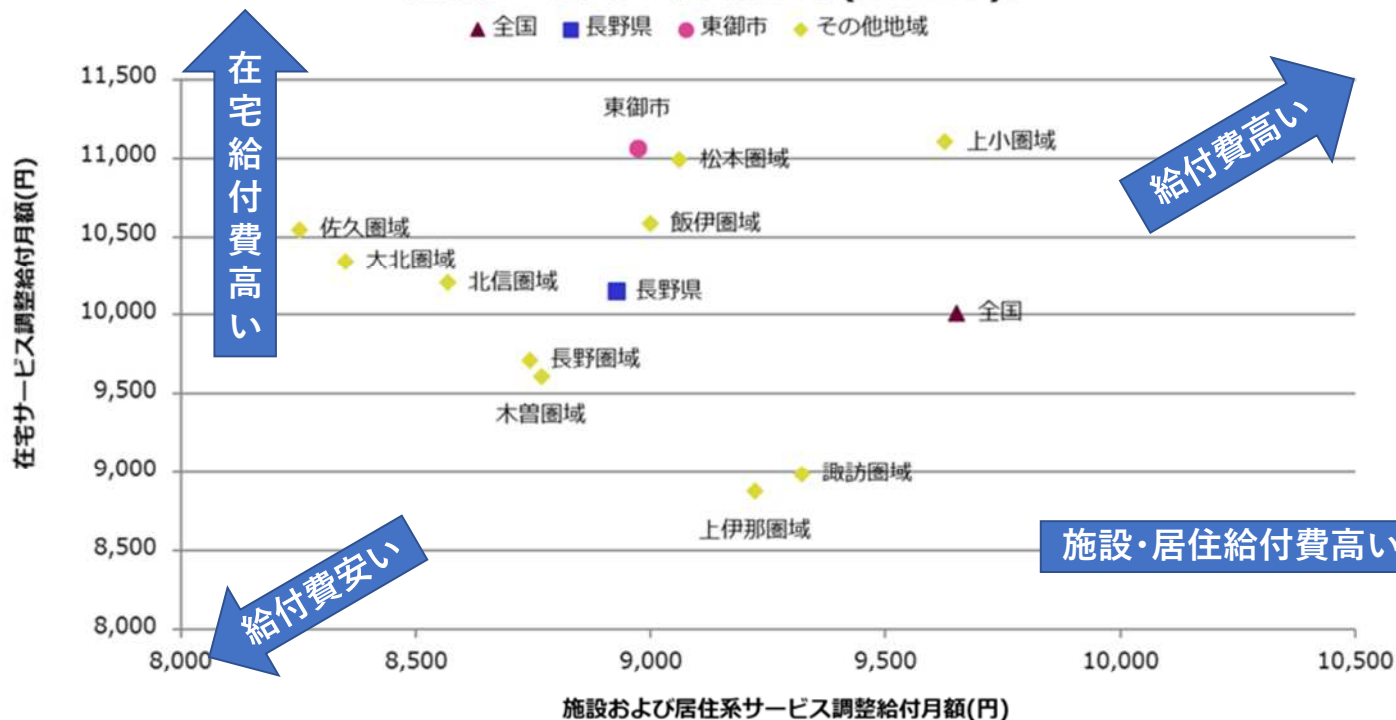


東御では、重度化すると施設に頼りがち？かも…

給付

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居

住系サービス）（平成24年(2012年)）



(時点) 平成24年(2012年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

給付

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居

住系サービス）（平成29年(2017年)）

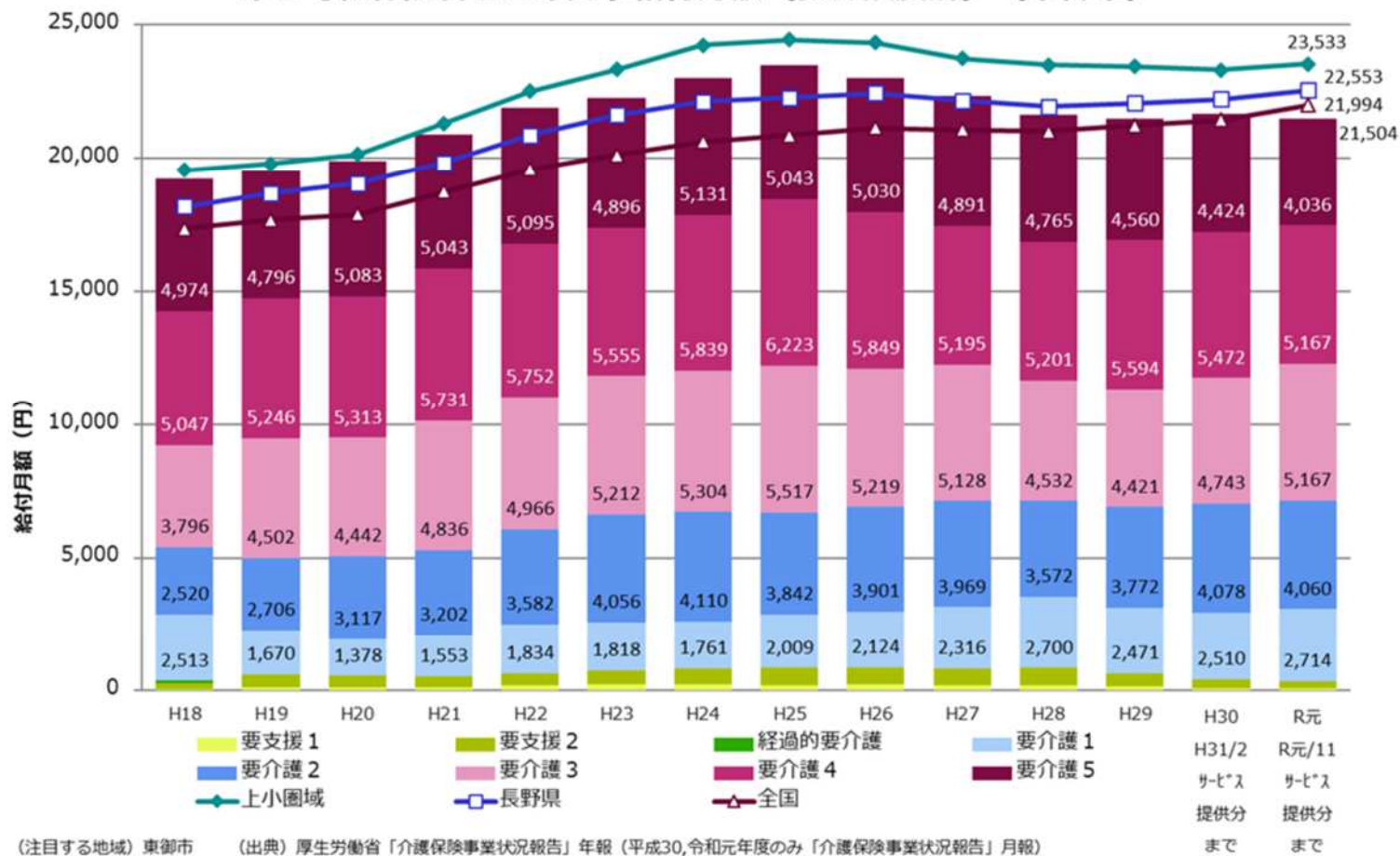


(時点) 平成29年(2017年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

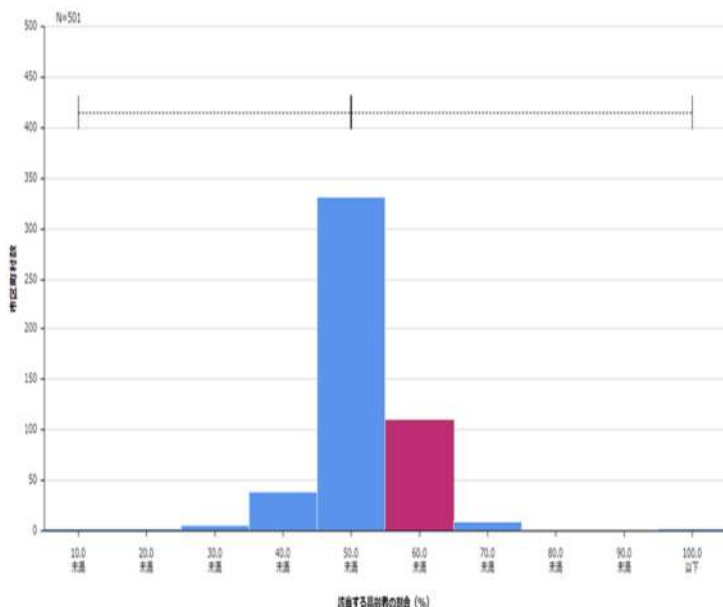
給付

第1号被保険者1人あたり給付月額（要介護度別）（東御市）



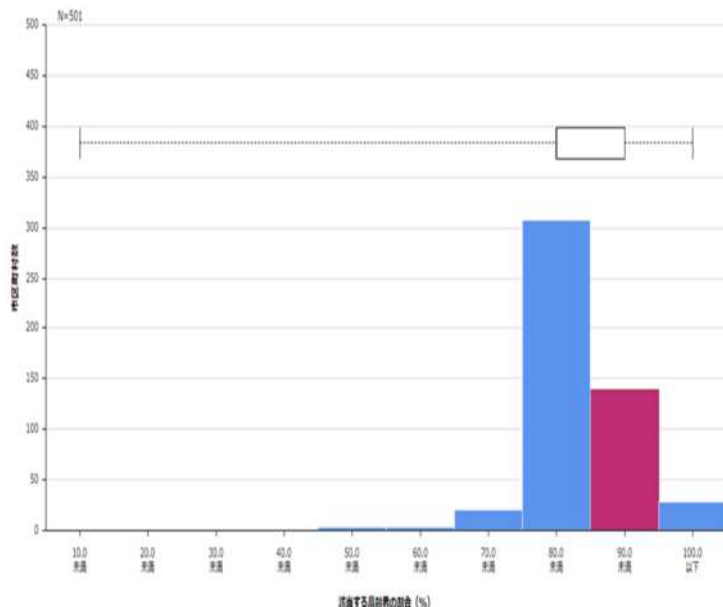
生きがいと尊厳の保持・向上：主観的幸福感・健康観

主観的幸福感の高い高齢者の割合(その他の一般高齢者のみを表示)



(単位) 平成28年(2016年) (注目する地域) 東御市
(出典) 介護予防・日常生活支援総合事業調査
※1: 調査対象の割合に、注目する地域を加えています。

主観的健康観の高い高齢者の割合(その他の一般高齢者のみを表示)

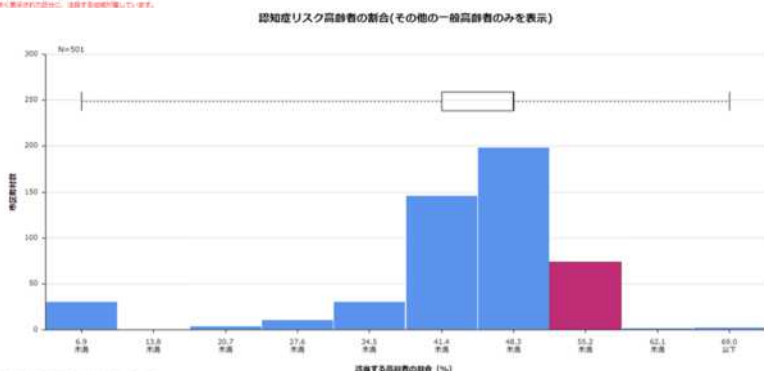
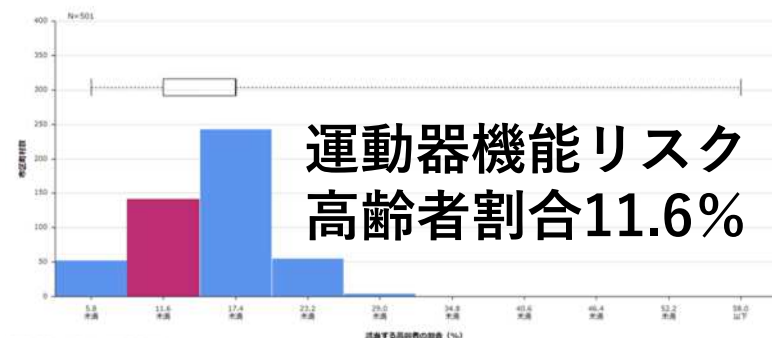
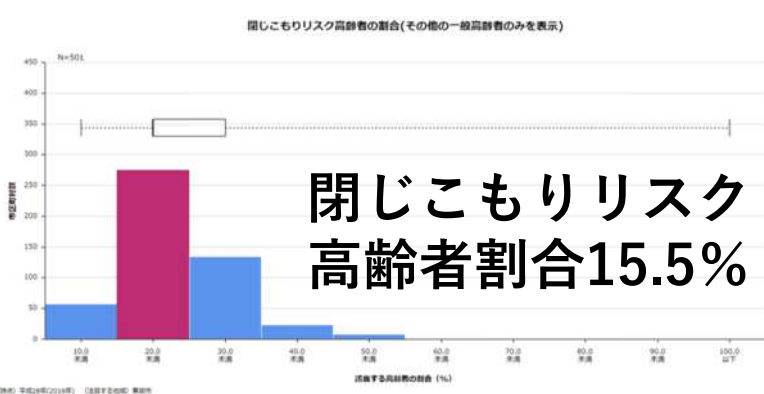
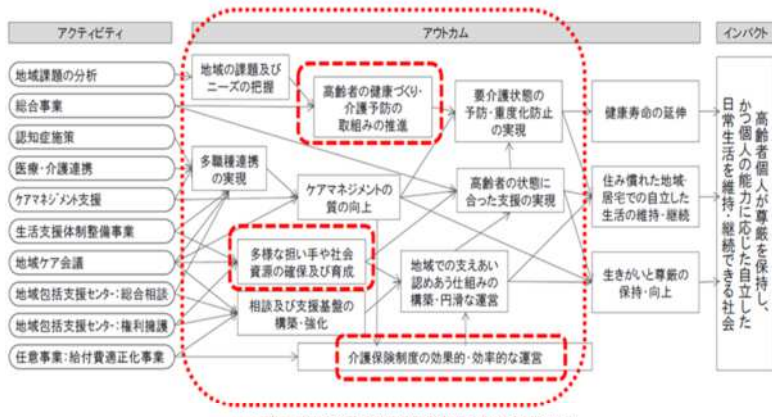


(単位) 平成28年(2016年) (注目する地域) 東御市
(出典) 介護予防・日常生活支援総合事業調査
※1: 調査対象の割合に、注目する地域を加えています。

**東御で主観的幸福感が高い
高齢者は58.0%で多め。**

**東御で主観的健康観が高い
高齢者は85.0%で多め。**

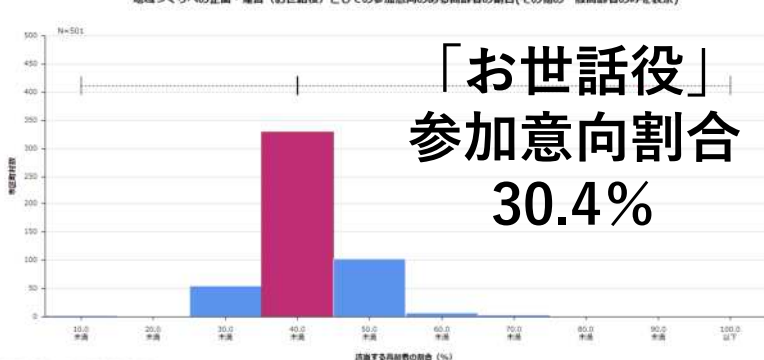
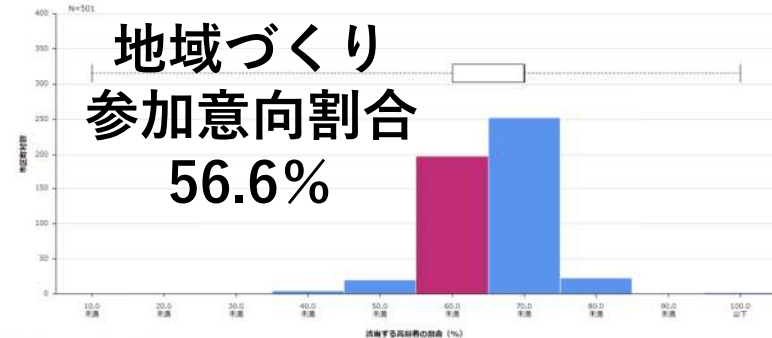
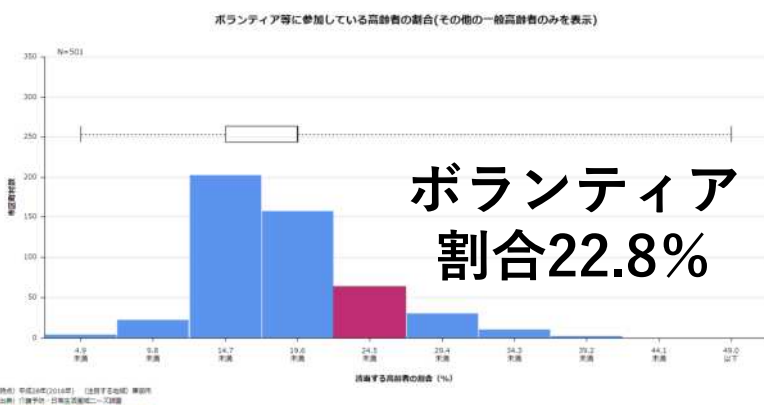
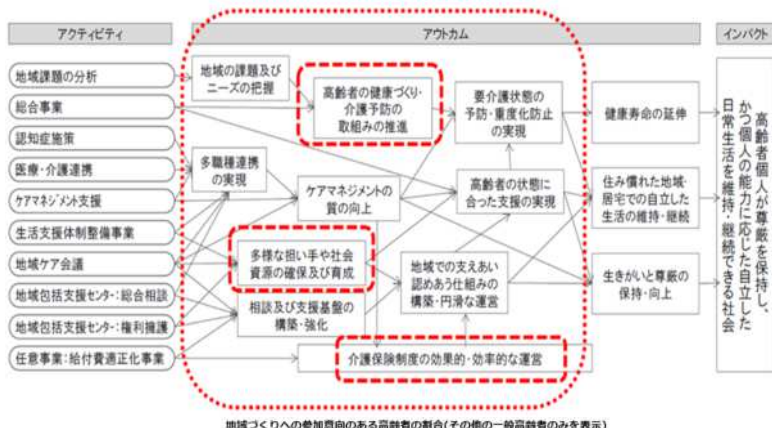
中間アウトカム（１）健康づくり・介護予防の取組



閉じこもりと運動器は良好だが、認知症リスク
やうつリスク、IADL低下者が他地域より多め…

認知症リスク
高齢者割合49.7%

中間アウトカム（２）多様な担い手や社会資源は？



ボランティアやスポーツ・趣味・学習等「自らやる」活動は他より熱心？
地域づくり＝「やらされ」活動？は他地域よりも不活発な地域かも…

まとめ2：「住み慣れた地域・居宅で…」は今後に向けて課題あり。
「介護保険会計」「生きがいと尊厳」「健康づくり・介護
予防」「多様な担い手・社会資源」の指標は良好？

- ◆「住み慣れた地域・居宅での自立した生活を支える」という視点で見た場合、サービス利用状況や死亡場所に関する東御市の指標は、地域にとって課題か？
- ◆1人あたりの介護保険給付月額の抑制・適正化そのものが目的化してはいけませんが、東御市の伸びは、全国、長野県、上小圏域と比較して抑えられ健全では？
- ◆ 必要なサービスが必要な住民に届いていないことが無いように確認は必要。
- ◆医療・介護連携を個別ケースの対処にとどめず、ケース共有等を通じた地域の「集合知」にできるよう、地域ケアや多職種連携の会議体を機能させたい。
- ◆主観的幸福感、主観的健康観や、健康づくり・介護予防（ハイリスク者割合）、多様な担い手や社会資源に関する指標は良好。
- ◆ただし、認知症・うつ・IADL低下の割合が高いのが東御の特徴で気になる。
- ◆ボランティアやスポーツ・趣味・学習等「自らやる」活動は他より熱心な一方、地域づくり＝「やらされ」活動は他地域よりも不活発かもしれない。⇒大仰に構える「地域での支えあいの仕組みづくり」といったものよりも、身近で無理なく自然に取り組めるちょっとした支えあいの連鎖が東御市に合っている？

最後に改めて結論を…

～ 東御は良さげです ～



- ① 「元気で長生き」は結構イイ感じかも。
- ② 「住み慣れた地域・居宅」は発展途上。
- ③ 地域の方々は、それぞれが自然体で
「生きがいと尊厳」をお持ちのような。
- ④ 介護保険会計も決して悪くなく健全に...